

第10回学生連絡協議会 議事録

開催日時：2009/5/14 16:30～18:00
開催場所：建設工学科棟2F会議室
記録：原田（1年担任）

出席者

教員：桑野（学生連絡協議会担当）、久保田（学科長、大学院担任）、奥井（カリキュラム委員、2年担任）、岩下（4年担任）、茂木（4年担任）、浅本（3年担任）、坂本（2年担任）、原田（1年担任）
学生：（1年：1名）、（2年：1名）、（3年：2名）、（4年：0名）、（M1：1名）、（M2：1名）

協議事項

0. 第9回学生連絡協議会(2009/01/28)議事録（案）の確認

第9回学生連絡協議会議事録（案）を確認した。第8回学生連絡協議会の検討課題への対応状況報告：

（3）研究室配属について事前にもっと状況を知りたい→3年担任に依頼(桑野)
（7）入学時の書類等（健康診断カード等）の英語版が無いことについて→学科より留学生センターに英語書類用意の依頼をすることを確認した。

1. 前回検討課題への対応状況報告

- (1) 実験を深夜までやっているが、学習時間をそのまま書いてよいか？→指導教員の判断による。該当の教員に相談した。
- (2) 遅刻する人が多く、出欠の取り方を統一してほしい→教室会議で議論した。再度、教室会議または教育方法検討委員会で議論を行う。
- (3) 時間割によって聴講可能な授業が限定されてしまい、空き時間に取りたい授業がない→現実的には、時間割を決定するのは多くの制約条件があり難しい。全学のカリキュラム委員会（教養）で、教養科目の時間割について検討している。
- (4) 基礎化学1を教養科目として取りたかったが、専門科目としてしかとれなかった。どうにかならないか？指導としてそうなっているのか、履修規定で決まっているのか？→岩下先生（前カリキュラム委員）から学務係に照会したところ、規定では決まっていない。教養科目は専門以外についても幅広く取る様にしてほしいため、専門でとれる科目は教養として取らない様に学務で指導している。
- (5) Cap制で英語を落とすと1単位となり、中途半端（23単位しか実質取れなくなる）になるため、Cap制のカウントを教養と専門で分けるか、残りが1単位の場合は制限を緩和して欲しい。体育が1単位で余っている。→学部カリキュラム委員会でCap制の制限について検討中である。
- (6) GPAでは、単位数を少なくしたほうが成績がよくなるので、本当に興味のある科目がとりにくい。→これについてはチャレンジ科目があると伝えましたが、それに対して、チャレンジ科目に関してはCap制の制限を緩和してほ

しい。との要望がだされた→(5)と同じで、Cap制についてはカリキュラム委員会で検討中。

- (7) 大学のマックでレポートを作成したらローソンのプリンタで図が出なかった→情報センターの実習室のプリンタで出力が可能であると確認した。
- (8) 製図の授業においてJW CADのバージョンが古く、バージョンを最新のものにしてほしい→毎年度末に更新要望の調査があり、最新版への更新がされている。年度途中でのバージョンアップには対応がむずかしい。
- (9) TAの工学部採用に関してある特定の研究室に固定しているのはおかしい→固定している訳ではなく、基本的に申請で決めている。
- (10) テーマ研究IIに関連して、人気のない研究室では成績の取得状況がわるく、研究室毎の格差が大きい。→教室会議で報告し議論したが、H20年度に新システムに移行したばかりでありしばらく様子を見る。
- (11) 駐輪場が工学部から遠く、不便である。→駐輪場の絶対数が足りておらず、駐輪場の新設の希望意見が再度出た。学科として要望を出すか議論する。(新規要望の(3)も参照)
- (12) 工学部の廊下、駐輪場へ向かう道が暗い。照明、街灯を増やして欲しい。→教室会議で議論し、工学部運営委員会に要望を出した。再度、学内の照明について学生より要望があり、もう一度要望を提出する。
- (13) 入り口のドアが壊れている。→頻繁に壊れている事から、形式を自動ドアなどに変更することも含めて、建物委員会に対応を依頼する。1～3年生からは閉館している時間に建物に入る要望は無かった。
- (14) 2号館2階トイレを直して欲しい→対応の要望が学生から再度出ているため、現状の把握と報告を含め、建物委員会に対応を依頼する。(新規要望の(7)も参照)
- (15) 雨漏り工事の対応が遅い→全くそのとおり。雨漏り工事は終了している。
- (16) 蛍光灯の交換がなかなかされない。→教室会議で議論し、蛍光灯交換は建物委員会の担当とする事となった。
- (17) 総研棟の空調があまり効いてない、センサー式の電灯がすぐ消える→桑野が対応先を探してみる。(理工研総務課研究支援係)
→センサー式電灯は時間設定の変更が出来ない構造である。空調は、省エネのため時間を9:00～22:00に限り、設定可能温度も制限している。
- (18) 建設棟のラウンジの予約をパソコンからするのは面倒→2階は自習室として自由に使えるように開放している。
- (19) 学生バンドがうるさい。休み時間と放課後は建物外でOKということになっているが夜中もやっている場合がある。→同様な指摘が学生の声にあり、3年生担当の鈴木先生より学務係へ対応を依頼している(建設系学生の声に経緯が記述されている)。

2. 学生からの新たな要望

- (1) 1年生：ガイダンスの内容が非常に多くかつ履修システムが難しく理解しにくい、必修の時間割表があったら良かった、時間割表の作り方を指導してほしい、との要望があった。→次年度以降のガイダンスで対応できる様、教室会議に報告する。

- (2) 2年生：レポート課題の場合、授業のはじめに解説をしてから提出すると、解説を自分のレポートとして書き写すことができるので、できない様にしてほしい。レポートの提出を先にするなどの対応策をしてもらいたい。→各講義によるので、教育方法検討委員会で議論をしてもらう。
- (3) 2年生：駐輪場の場所を学部、学科別に指定してほしい。入り口に集中して使いにくい。→教室会議で対応を検討する。(前項(11)参照)
- (4) 3年生：建設棟の入り口の前でタバコを吸わないでほしい。指定場所以外での喫煙をしないでほしい。喫煙者のマナーが悪い。→指定場所以外での喫煙を見つけた場合は教員が注意する様に教室会議で再度確認をする。
- (5) 3年生：教室の机の中にゴミが入っているのでやめてほしい。→ゴミ箱に捨てる様に貼紙をする。清掃担当者に机の中についてもゴミが無いか確認をお願いする。
→貼紙については掲示済み。清掃担当者が確認するよう理工研総務課研究支援係へ依頼済み。(桑野)
- (6) 3年生：早期卒業についてガイダンスで突然説明されて、何のためにやっているのかわからない。メリットとデメリットがわかる様にしてもらいたい。早期卒業について、入学時からきちんと説明してもらいたい。→新しく始まったシステムで、今の2年生の入学ガイダンスから説明をしている。
- (7) M1：2号館のトイレをきれいにしてほしい。特に女子トイレにおいては、水の流れが悪いので改修が必要と聞いている。→建物委員会に依頼する。
- (8) M1：アドバンスドインターンシップの単位の扱い、時間割の標記について分かりにくい。→時間割は誤解を生じることがあるため、博士前期課程入学時の履修案内で確認し、ガイダンスでも確認すること。
- (9) M2：大学院の掲示板が3階にあるが、できれば大学院の掲示板も1階にあると情報を確認しやすい。→教室会議で議論→建物委員会で検討
→1F(岩盤実験室前)へ移設
- (10) M2：一斉清掃時に役割分担を明確にするなどして、もっと有効な方法を考えた方が良いのではないか。毎回惰性で続けているのであれば、やる必要が無いのではないか。→教室会議で議論する。
- (11) M2：授業アンケートを学期末にやっても、学生は自分たちの受ける授業に反映されないので途中でやってもよいのではないか。→アンケートを何回も取るのは費用や授業進行の面で難しいため、問題や要望があれば、その場で担当教員へ伝える様にしてもらいたい。その場で難しい場合は、学科HPにある学生の声に書きこめるので活用をしてもらいたい。

3. その他

教員から工学基礎実験の履修者が少ない事情について学生に質問があった。
→毎週のレポートが負担に思われる。必修ではない。実験に時間がかかる割には3単位しかなく、Cap制において1単位分がもったいない、といった意見。
→カリキュラム委員会で参考にさせてもらう。

以上